

市ヶ尾村内野家丙辰日記 安政三年 1856年

筆者が内野丹藏であれば当年七三歳、倅源藏であれば四九歳である。(文政七年宗旨人別帳による) ちなみにこの日記には丹藏・源藏いずれの名前も見られない。

(凡例)

- ・難読の字は□。字数不明の時は(□)。
- ・破損虫損で解読不可の字は■。字数不明の時は(■)。
- ・難読で正誤不明の時はその字を□で囲む。
- ・傍線ヶ所は*で簡単な解説を付した。
- ・欄外の字はポイントを下げて太字で記した。

p1 0001 (表紙)

辰三月十四日又写

日光榛名行

吉相瑞相

舗 申年

四月七日迄

前分三百五十五匁

八月六日迄

食

負物目方

後分六百三十目

惘然・藤

べ九百八十五匁

外ニ合羽百五十匁

又べ老貫百三十五匁

四月十二日

正味貳百五十六匁 ツクミ

東一決

丈ヶ六寸ト定置候

前午五月廿一日聞驗ト在

今日誉天明キ悪く言人の口

□御□迄虚言の世の中

辰六月廿一日写

於七月廿六日聞 子ノ吉殿噺

一金老分代表一俵位

【注意】写真の撮影が2枚漏れている可能性がある。

虫損や難字で不読の文字が多数ある。

丙辰日記

七月六日雨降割出来

但老斗六升計

別失八・九老七升

漸二月十七日冊

*表紙に続く正月のページ1月分が撮影もれ。

(撮影漏れ分再度追加令和三年十一月二十七日公文館)

p2 0002

見開き白紙

丙辰元旦快霽 禮人悠々来

去乙巳年より拙遠慮中当日不動出張請礼成

七ツ時分禮人表々事仕舞也一睡成

□年近所より朝東廻り下山迄神勤と在

二日快霽昨同様穩也 婦人禮も同様後々来也八ツ前畢

川中村中主人宿吉五郎未来 宿主人来酒出シ仕舞也

三日快霽 風出 恩勘兵衛殿来宿来

後近所禮廻る也

四日快霽 風吹出す今日私宅節也川□昼後來

五日快霽 大風吹出す牧恩田長吉連行自前角寿と

石川行喜三郎殿へ寄一酒也丸山行勤七ツ過□□也

趣馬絹へ仁同道

六日快霽 在宿看経成昼後石川仙治兄来前にて一酒口

夕刻内にて一会し日暮て御帰り川宿若醫御寄長咄し

乙丑快霽 在宿茅ヶ崎老母御出長咄し昼頃御立宿江御越被成候

自五早々上谷江用禮勤なから行早々引帰茅平兵衛殿御寄

在客式人御寄酒出ス也

八日曇天 寒し在宿看経権兵衛不来昼過谷本

市兵衛殿へ年禮趣留主酒馳走ニ成帰

p 3 0003

九日曇天 朝寺御寄御酒機嫌御帰後川行支度成

後髮結石川保木御寄九ツ過夫より支度調新見せ

にて紙手巾整口連趣夕刻ニ成宿辺勤帰宅

十日曇天 上々少し晴在宿孰も不出内ニ居

上辺禮婦人来後仕立や来夕刻ニ成今曉表節

陽気雪口雨落成少雨降立大南風成

十一日大南風 昨夜より雨降不止 大万五郎兵衛殿市兵衛殿禮来

夕刻迄晩才口御節朝寺江自行

十二日快霽 在宿太左衛門殿来上隣預金用北風寒シ

十三日茅ヶ崎より有馬迄禮牧同道夜ニ入也

十四日在宿上辺江和四用暁青山善光寺郷珠数(数珠カ)宿

十五日右ニ付馬絹江禮なから善光寺先触ニ行早々引取也

十六日在宿夕刻下象五郎殿被招行

十七日快霽 大棚高津大工用内下女頼方断行 一日ニ成

十八日四ツ頃より川和江一寸趣帰り上辺石橋綿や川間辺禮勤

帰宅

十九日曇天 上々晴 今日始て奥久保茅野掃除見聞

入口左男松抜折米石川行

廿日在宿看経川森隱栖御出

廿一日雪降立 宿一条表江行帰り又川間江右用雪中趣

日暮紺屋頼物寄帰

廿二日一日囲碁

廿三日快霽 昼後御帰り被遊候洗卓始処へ上一口

来咄し遅く廿三日夜行

廿四日雪降 仕立屋居仕来句合成 無空

廿五日快霽 牧先江出一指團御立ニ成

廿六日

廿七日 半日竹切行

廿八日 表と山江竹切行 (川和中山両大工用行川間辺早々引取)

廿九日在宿快霽 仕立屋来早昼上辺江登元藏殿石橋

晦日快霽 宿御内御出処江川向竹屋来不売田中へ渡

髮結夫より口計在

p 4 0004 (右ページ白紙)

夾鐘朔旦 *陰曆2月

二日在宿 山竹茶吉始遣置候

三日快霽 牧始テ麦決出但し久助同也 昼後瀆島行

四日

五日

初午

六日快霽 前之瀧女 宮脇伊三郎寺入右待在宿成

七日

八日

九日

十日快霽 社日 市右衛門方江行金川金五郎殿来咄し昼出し夫方

上辺同人用即登金五郎殿直矢本廻り御帰りの向綿や江寄竹山代促頼

十一日快霽 有馬江一周忌墓参趣 昼牡丹餅馳走ニ成墓参

早々帰ル

十二日山代松二郎殿より式金受取也

p5 0005

十三日快霽 朝上辺宿用聞 在宿 昼後掃除成

十四日快霽 在宿 芝野拵□岸中□也 子供半休逢来促 ?

十五日快霽 在宿大ニ悔日 昼過川中主人御出咄し夕刻成

晚暇促金用趣

十六日快霽 墓参成 表宿共掃除成 金用談森田内借成

上辺紺用登 表と一同飲酒引取也

黄昏時牧ともみ背切外山中畦五六本切□□ス

十七日

十八日曇天 川宿医方観音講 原金物用 成合用不趣処

宿観音講江趣

十九日快霽 八朔江 廿一日御影供并一周忌用頼 自番趣

*弘法大師の忌日にその画像を供養する法会。本来は三月二十一日。

廿日快霽成 成合縛見舞行

廿一日御影供一日ニ成法事勤 晚上矢本出□見舞

廿二日跡方付ケ昼頃方付ケ 森田母来勘定成差引取也

晚南慶来但し金物ヤ用

廿三日昨夜方雨降也 前ニテ咄し一酒成 南慶共ニ表行

原同道頼引取宿 {□ } }

廿四日朝南慶 昼過上辺綿や行引取

p6 0006 (右ページ白紙)

丙辰姑洗朔

*陰曆三月の異称。

小雨降也 榛名連様子聞 原文江行再酒出し

□昼過迄居談し聞 昼後方川表江表より雛内方代祝持行

二日快霽

三日快霽 勇吉松二郎綿や来 竹代不残取五百歩蚕迄借遣 酒出し追々

□夫より

下梅公殿弘メ被招行 森田寄又角左衛門太右衛門共寄石ばし寄又一酒成

四日曇天 上惣二郎殿来 地替一条五郎兵衛殿来同し用事来譲受入用

式分かし遣表迄廻り川表中主人御寄例之金談川間咄し御帰後

上辺禮濟宿ニテ地所用酒始一酒ス

五日曇天 綿や早々来長咄し表来綿や酒携来三人吞

仕立屋来酒畢 下小左衛門方弘メ式度使来 表自夫江趣也

日暮て帰宅

六日曇天 上市郷石橋辺用但し榛名参事 内談酒給紺や寄昼也

帰り下辺同事用大万留主空森田やニて石長屋角仙等一酒し

背庭垣作二日メ

七日曇天追々快霽 仕立や来咄し同道上辺登又石橋ニて

一酒し又紺や寄借店用老母と談し引取也 下磯衛門江行

家直し等談し帰 太右衛門殿地所一条用來長咄し

長吉来り中庭垣杭埋牧手伝也

長吉牧自

八日快霽 昨日太右衛門頼咄宿江行留主空引取

垣拵手伝成ス 座敷向仕上ケ

p7 0007

九日少雨降也 朝太右衛門頼地用 新左衛門へ両度行聞 夫方上辺江

用登 太右衛門不居餅兼但し百足頼跡同丈促し置早帰り 夫方在宿

川宿中村江用趣宿老両式分式朱中上二五百歩渡し川表ニテ濁酒給急

帰ル也

十日雨未歇 飯過下傳五郎へ行 太右衛門地所一条談し昼過上辺
同用登 元二郎ニテ太右衛門呼談し 荏橋江寄酒飲但し宿之勇等
石橋ニテ宿江咄し先談届申候 夜更迄居太右衛門と分帰宅也
十一日快霽 卯之助方迄府用如何一寸行 看経極楽寺御寄茶煎
中鉄八五郎殿老母川行御寄 茶出し跡ニテ内外庭掃除成

□
青桐ずんど二切 安郎来枝手入 昼後山江久助新土切見ニ行
引取米江老印表江土之分借式印銀八ツ差上返申候

十二日快霽 在宿 宿主人来金但し表へも右申通し帰宅山江
新土□し見行 松来呉候両度行 帰髪結川無尽行

○酒宴可考

十三日快霽 山江一寸行帰り下辰五郎方山代無抛促し

帰り森田屋ニテ上之老僧居呼ニ付寄八朔喜衛門一座被成長飲
夕刻上辺用登 朝寺江寄院主芋櫛と見江御趣ニ在 専右衛門ニテ
一臥之後登位牌屋敷ニテ夕刻迄養帰宅甚□

鶏鳴時分漸少し快成

十四日曇天 久助来池谷開発残行 自上辺金用

登酒や石橋紺や餅や原勝外伊左衛門ニ寄

素麵馳走成 引取綿や荏嫁着物用表江来酒飲

夕刻夜ニ入引取也

十五日快霽成 在宿太右衛門方倅金老兩持来後下辰母式金

持来 夕刻酒少し取寄下老母と一飲成 扱々金離返甚不快□

十六日曇晴 久助来池谷発焔ふるい出しニ行 八金宿江 丸也

夜不快次第二候 綿や太三郎促し頼荏嫁用談天王山廻り

紺や江寄帰朝寺江寄 池谷開発江寄手伝也

十七日曇天 谷新開江行地ならし半過手伝 夫々天王山

儀□頼遣夫江行昼過迄居引取牧と池谷山松切
小竹□々切拂丸夕刻引取也

荏田観音敷石供養之日久助昼後より行

十八日少雨降昼歇 長吉米搗久助薪丸キ牧も行岸来

喜太来雨度々降也 磯右衛門来天王山杉木六本 ■

治郎吉来金談同道登 少雨降立雷始 朝寺ニ逗留ス

後帰髪結 川七郎兵衛殿観音講江趣 又雨降立歇

十九日快霽 綿や来磯右衛門来 長久木負行 自跡方

昼持行

廿日快霽 板小割運受負行 磯右衛門市蔵助ケ仕立や

p 8 0008

両三度上下成 板敷出来小前着々仕上ケ

廿一日朝霧降追々雨催ス晴 床家壁塗ニ趣昼ニ帰り *ほう・雪が盛に

長吉不居又登 谷惣太三郎抔助ケ壁荒々ニ成 用瀬洗 降る様。4

土手普請在之

廿二日朝霧深し少雨降立 下亀五郎殿頼置候用老母江傳招

翌日呼懸ケ合 磯右衛門一子出生見舞帰 夜ニ懸ケ大風雨 下(□) 被招行

廿三日快霽 同所方帰り一睡し夫々昼過し

床場壁塗ニ行 荒々出来上ケ早々引取 大風也

廿四日快霽 飯過紺屋使ニ行綿や江太三郎山代懸合

引取下源太方三ツ目招来行 夜ニ帰

*婚礼又は誕生から三日目に当たること。またその祝い事。

廿五日大快霽 川綱桶来在宿下亀五郎殿へ金談行帰

唐桐植畢後川中兵衛来咄し 夕刻同道川江趣途中

同人と談し金用足り引取也○扱快成牧ニ酒為買飲

廿六日快晴 早朝宮谷杉切 飯後省連行杉皮ムキ磨キ

上床跡江両三度登夕刻帰宅髪結夜処々用足シ

廿七日快霽 未明支度シ

上之元二郎殿同道榛名参詣ニ趣

p 9 0009 (旅行の間記述なし) (11)から4月)

七日四ツ過馬橋ニ上り成田開帳拝シ少雨降立 昼食し夫より田町

辺用足し溝ノ口内田やニテ休飯し雨中帰宅往より黄昏也

八日少雨降立 在宿也

九日在宿也

十日

十一日

十二日快霽 大権印^方下鉄迄用在趣 夕刻迄老母と咄し引取

下常五郎片江被招行

十三日川瑞雲隠居御出被遊候 自分勝利

十四日今日も御遊被成候 下鉄御内御出咄も御頼被成十六日受合

恩田湯懸ケ

四月十五日今日背木小家起し表宮脇市右衛門久助等同人昼後酒買

昼過より出立菓子調箒持恩田藤兵衛方一子痘湯懸ケニ趣

夕刻暇乞し引取 下吉右衛門老母へ式百足返金帰川間

左十原吉者事江趣 自不出会

十六日快霽 右出空見舞 隣家■江貌出し早速引取

菊植替

十七日快霽 太右衛門殿一条伝五郎殿同道登 荏橋迄迎來

天王山松木案内し太右衛門留守早々引取也

夕刻菊植替成

榛名以来帳付ル

十八日快霽 太右衛門来下傳江趣川行留主暫談

先荒々懸ケ合昼過引取兩人昼食し坂下ル 荏より

籠采貫候分通し明日丸キ談し朝寺江行 帰り帳付ル

十九日快霽 坂下前角右衛門夫婦内久助と祐朝寺長吉行薪丸キ

内久祐拾式把長吉廿六把前角十七把坂下拾五把之由

木綿蒔

廿日曇天 上之前木綿蒔自行 晩綿蒔昼前引取休

小豆蒔昼後霽祭休也

廿一日曇天綿蒔久助休也

正田中鉄^方より送來御泊り成也 雨降立夜中湿也

詰割

廿二日曇天 追々晴 昼過し八ツ過より川和へ

p 10 0010 (脱ページ分追補)

牧御供し行也

廿三日快霽 書院前松作堀上分仕上ケ姥豆蒔也 *姥ケ淵?

松作

廿四日快霽 書院庭松作八ツ過迄上ル也 茶煎□ム

女手習状写

廿五日曇天 在宿○牧女手習状写但し下□□分

朝寺昼頃御出御咄し御帰被成候不快風邪也

廿六日快霽 昨今女手習状写し出し遣也

廿七日快霽 久助表耆人頼上川間箒番小家拙行

風邪□□一日臥養汗取事成らん晩又汗取ス

廿八日快 不快久助下河間土手人足行 祐と牧三番□刈

昼後曇天風邪未快 朝寺又中村叔父杯御寄吞

松裁かへ作

廿九日快霽 在宿少々快方

川老又石川湯御寄也 夕刻松鉢□作

晦日曇天 追々中快霽未快併快方趣半日

背辺松木作見昼後一時川口蔵来

晚少し快方也

蕤賓昨旦大曇天 在宿一寸表風邪見舞 *陰曆五月の異称。

風邪快方

二日曇天 在宿朝飯過相拂河田方御出酒出し早々御帰也

看經権兵衛と昼後快調成 荏市郎見咄し候

此節山蚕三度置後今日南風不宜也

三日曇天 在宿子共世話看經等昼後吞分黄昏迄

四日曇天 朝金物昨日余渡式分式朱也 四ツ頃より仕立や来長咄し

五日曇天先霽間 禮人少し

昼後当りより不快今飯し早寝

六日曇天 久助来 胡麻蒔之様子いんけん蒔垣苦勞二

相成り候由 昼過引籠臥也 源太来起火タキ付ル

雨降立下中山茶子抱有 牧禮二廻り候 母宮参り

七日川医師江願是より引籠薬用致し見候

八日

九日

(一)こまで脱ページ追補分)

p11 1449

十日昨今之内大南風口続

清気少し凌能

十一日

十二日少雨降也 牧薬取行少々快坎 夕刻朝寺御見舞被下候

十三日曇天 中宿老人御見舞長咄し今日熱気少し増候様ニテ御帰之後

引籠臥 宿老母御見舞より被下起咄し申候 昼後表老人御出御咄

昼前より少し快方

牧表田植 久助一日式朱代計一人懸り刈向夕刻最早川江口行

時分也 早々仕舞下山ス

十四日曇天 久助来長吉頼暮以来庵朶積込 後干麦

丸キ行様子 時々雨降也 前母来蚕分ケ

十五日快霽之氣追々曇天 道仙老御出ヒ下候 久助来麦丸キ

子供碌々不来 昼前床二住昼後起 喜太来

此間内より始ノ今日又口甚悪敷候 夜中少雨大南風気色宜候

十六日曇天 朝色々混難弥 昼後気色快く候

麦額打と相成也 市右衛門殿来口候

十七日曇天額打也 曉ケ口 一昨今打畢口川老医上一口

御出被成候 老醫式三日中快氣と御申被成候 左ニも参ル間敷申候

十八日曇天 久助不来 蚕上ル様子 両三日少々快く相成候

表田植下河間多植江申ス 内蚕上ル也 時々大降也

○夏至快霽 気色宜く川老醫御見舞下母来 後上油や母来

長咄し元二郎方ニ有之候米小麦迄借度旨願ニ被越候

川中村老父見舞ニ御出被下候 後々蚕上也

廿日曇晴 久助大堰行 朝寺御見舞被下候 但し香口だけ

祐裸扱キ 牧手本認遣 快方併午夜寝汗多也

胡麻蒔麦打

廿一日快霽 久助来胡麻蒔 川老醫御見舞

昼後麦打姥畑式ノ内拾俵分程有之向

廿二日快霽 久助来残麦干 祐女麦扱キ 自上々快方とハ

心得候へ共油断不成事も承知致居候 麦打三斗有之宜

廿三日快霽 久助来小麦刈祐行牧桑葉払之由

長谷寺米搗 川若醫御出被下候

上之仕立屋来四ツ時分より八ツ過迄被居御帰後子共下り也

少し風ニ口居障り候哉と存即引取籠申候

廿四日曇天 久助表也 祐裸扱キ畢由
鹿蚕繭かき始ル ○自上々快き方

○有用来て見舞言申 但し^もケめ也 ○今日起不寝

p12 1450

廿四五セキ在

廿五日朝飯時下常五郎方親父見舞砂糖持来同時

○有用坎 森田母来 見舞言帰申候 遅し

追々快霽 久助来裸干 祐小麦扱キ始

昼前より表峯喜太谷長等頼裸打畢 後堰浚行

廿六七日セキ遠ク

廿六日曇天上々霽 道仙老来後四ツ過森隠居寄

後中村老人肴携御尊来有之七ツ前御帰

小麦扱祐女 上々快様二趣

勝利

廿七日快霽 祐小麦扱 牧藁ながら中村江昨日入物返秋カイドウ

持参行 四ツ過森隠御帰囲碁 後仕立屋来

御両所七ツ前迄御咄し下鉄勝兵衛御寄

看経快成

廿八日快霽 久助不来 先上々快方二趣也 七ツ頃方胃快

宵新左衛門殿来咄し 真次為二夜起障候哉 セキ出ル也

粟蒔

廿九日快霽 久助来粟蒔 川若醫御廻り 矢本御出

二家道際老荷と。六分目老荷 ○此分江老合と老スクヒ位

○牧川和江帰谷田江行

今日昼遅し大ニむし暑し不快候

林鐘朔旦久助来 姥ケ淵畑江行様子

快霽昼後風荒 □も不来

*陰曆六月の異称。

石ばしや原林公見舞来

二日快霽久助来牧行 姥畑搔行 長吉頼芋決

小麦起ス 此頃子供碌々不来昼後小麦打

八ツ半頃久立積 小雨小雷碌々不降候

粟蒔

三日快霽 久助来祐と粟蒔半日 昼後長吉麦押シ

姥ノ内六俵ニス 谷田植牧祐長吉行 若医御出被下候

雨請

四日快霽 今日雨請一揃団御出御帰り後八朔

極楽寺御寄御長咄し 扱あきれ果申し候

五日快霽 久助不来穂麦干 祐木綿川取行昼後

大麦小麦穂打 此頃毎日風裂乞大南風

薬休

六日快霽 久助不快帰 長吉上サ寺米搗 祐木綿拵二行

下□五郎母と善五郎殿内手伝呉候趣 昼後も来呉候

大南風引続吹也

○今朝灸治被頼袴脱捨申候 食事も快進申候

七日曇天 早朝より下母祐牧等木綿拵二行

四ツ前小雨降立庭小麦売(から)取□野より帰来

p13 1451

七日四ツ過小雨降始 度々降しめり二不成候

夕刻川老醫御出饅飴出し御帰 下母来木綿拵上^置候

出産

八日曇天 市右衛門殿木綿決呉 祐同人方野仕事行

九日曇天 久助来姥ケ淵畑菽(大豆)決り仕立や来長咄シ

前色々申候事も有之 六月割宿江綿や来り居右へ

乍居甚失礼と存招酒出し咄し先事成□御帰

晚少雨降

十日曇天 久助来在宿仕立や来口共金三分

先土用かし■之積

十一日快霽 看経四ツ頃天王万度書上ケ退屈シ前隠居

茶煎馳走ニ成 昼ニ成也 久助小豆決り 祐草取行

昼後谷開発芋草取決行

髭スリ浴成

十二日快霽 在宿上之仕立屋内産祝白糖持来同市右衛門内来

十三日大快霽 朝飯過 下卯之助昨日懸ケ銭式朱遣 左五郎

肩当切買谷本江持参頼也 久助来

十四日大快晴長吉鯉鮓拵 ○久助不来無間も友来

茶煎喫し咄し御祭礼江趣 改看経

十五日大快晴 表主人来勝手板敷直し早速来

先直し出し一祝成

八ツ頃雷雨夕刻同断潤澤し申し候

十六日曇天 飯過石川姉出産祝来鯉鮓出

早速御帰被成候 無間も昼ニ成也

十七日曇天 二階掃除始昼前荒々出来昼後

例之一輪圓御出茶煎し中咄し御帰 後

久助姥畑粟廿五決蒔牧行 大帰芋栽

夕刻書院雪隠障子張 晩雨降

十八日昨夜より雨降続也

曇天昼後余程むし候得共先後宜く候

川天宗寺観音講牧行 *川和天宗寺

十九日曇天 御隠居御滞留昼前後共囲碁 八ツ過

御帰り早番式番自負申候 昨日方朝荒々打分也

廿日少雨降 金物屋来長咄し即昼ニ成也

髪結上辺用登 石橋鏝貫

廿一日曇天少雨降度々間晴 久助麦搗始四白

八ツ頃より上登 荏橋祝儀夫より一揃團江一酒携趣日暮

朝方丈犬御一席験 石橋江寄又酒宴し鏝貫帰ル

p 14 1422

廿二日漸快霽 ○久助来麦搗 自川間辺年貢用

促し行懸ケ表江勘二郎老分預ケ趣ク 勇吉殿ニテ茶煎

馳走ニ成帰 昼後一揃團来今日帰早し

米搗

廿三日益快霽 ○久助来姥割粟拵牧祐行 ○長吉来米搗

廿四日快霽 四ツ頃より川表江出勤届行 七ツ頃引帰

廿五日快霽 権二郎殿来 全快右故上辺廻ル 油やニテ昼馳走ニ成

紺屋ニテ直し馳走成帰 未大炎氣 一樹一枝等御寄酒出ス

廿六日快霽 久助麦搗権二郎来金百疋来中甸迄かし

遣し候 長吉谷地内芋決様子

廿七日快霽 在宿宿主人昨夜御帰り御出 金入用之旨 夫方鬚刺

上辺川間共用登 綿やニテ御馳走成 日中帰宅金公老分持来

廿八日快霽 在宿川間宇吉殿来一両日荏橋延自分共一同納

油や老母来式百疋質前迄かし遣 惣二郎殿来後仙之允殿酒携夜ニ入御帰

廿九日快霽 飯過上辺小石橋促登不出来即引取石橋にて

焼酎出一酒紺屋寄引取 油老母来百疋見口相替遣 久助来也

晦日快霽朝寒し

木綿式番決 久助牧祐行 勇太殿来式分ト老分受取也

巳ノ物愛次連返し行

夷則朔旦朝曇天上々快霽 籐右衛門屋敷胡麻決 *陰曆七月の異称。

例朝墓掃除也 昼後雹祭在稀也

夕刻上紺ヤ惣二郎方要用登ル 紺ヤツウシテ吞居二付一同一酒帰

二日快霽 今日恩田下谷要用盆供用ニ趣 式軒ニテ七半過帰

三日朝霧深シ上々快霽 綿や要用登昼食仕立屋食

綿や待不帰来無用早々引取 但宿江手紙用有之也

四日昨夜方少雨降続 在宿少々今日川宿用有之右ニ付心に

鬱氣有之一睡成 ○夕刻川弥三郎宿式軒礼勤早帰

五日曇天少雨晴 早昼上辺仕立屋少用綿屋要用登

石橋来勝右衛門殿酒話綿や二て一酒夫方石橋拙寄吞帰

六日少雨降度々也 在宿 夕刻下作方三郎帰来上辺遅不登

七日朝晴上々晴 子供髪剪遣自髪結四ツ頃寺江趣上富

被来後行 人早不来 追々青戸より新盆七郎右衛門方拾■人来

八日曇晴 上仕立屋用綿や逢度登 一粉ニテ酒宴始畢方

石橋行在屋怪我一条内談し遣燈し帰也

九日曇天 在宿昼後より仕立や懸物切炭脚絆仕立頼

早々引取也

十日少雨降尤夜より降也 今日小兒おびや明行

p 15 1463

表江宿下老母来長吉鯁鮎拵 先客済今日川和

瑞雲寺無尽 行者原三ツ口講釈来言伝又森田や

迎来行 三女鼓打二三切聞一同川和行坂下間一酒引取也

半蔵葬式

十一日雨降 宮脇半蔵死去葬式

時々雨降早送葬一同引取也

齊

十二日曇天少雨降余り不降 客見舞畢一同

念仏 跡ニテ酒出拙不吞五ツ過引取也

十三日曇天

座敷掃除成 昼過より御棚拵ニ懸ル也 当年早

仕上ケ□杯出来先年より早く御迎火出し候

油や老母先日時かし御持参被下候也 但式百疋

十四日少雨降也 子供髪等ニテ昼過髪結近所より

上之寺迄御盆経勤引取 川中村中主人宿ニ御出一寸寄

上之寺御寄と早々引取 御当所打待居御両所ながら御寄

十五日快霽 未明立牧大山行前油や同道也

在宿看経

十六日快霽 在宿四ツ後石川兄来寺ノ咄杯し早々御帰

後恩田江用ながら牧迎可出と存候所川中医御寄

太右衛門殿牧大山帰宅 但し七ツ前也

十七日快霽 在宿一揃團御見へ無間も黄昏後

弥右衛門殿御内御尊来 昼素麵出し昼後上辺江向御出也

今日久助殿来大根畑耕也

十八日快霽 在宿 石橋来後昼食 帰寄積相□也

川東照寺観音講原主人寄表具頼遣

大根蒔茶摘 榎丸

十九日曇天 久助来也大根蒔

榎丸キ

廿日曇晴 久助来蕎麦地長吉式番搗 味噌麴也

自朝懸ケ榎丸キ

丸キ上ケ

廿一日曇晴 麦干自榎丸キ 久助来蕎麦地

長吉麴蒸 昼後テナシ七ツ前朝寺石橋申訳被頼登早々帰

上登

廿二日上々霽可申 下隣萬兵衛来麦搗
久助蕎麦地江行と見へ候 朝方同道石橋登夜二入引取也
ソバ蒔

廿三日上々快霽 長吉居蕎麦蒔牧自祐昼後
富五郎前昼後背畑通り牧祐行 五郎来寄

廿四日快霽 在宿○茶蒸麴寝し中祐着物拵
右故自■ 夕刻表主人来直し吞夜風雨ス

p19 1454

廿五日快霽 在宿一揃團来長咄し八ツ過御帰被成候
其前朝寺登上辺江登積内二居也

廿六日快霽 在宿久助来長吉米搗祐小豆打

昨夜下田地蔵尊中山来今日村廻り川越帰ル

廿七日快晴

金物や被頼論聞 但し雄淳表来八ツ頃迄夫方上登原江

廿八日尋油や紺や石橋一揃寄夜中帰也

廿九日快霽

上サ江雄淳逢まさき貫置向咄し引取

恩兄来同道ス 七ツ過御咄 無尽金濟也

南呂朔旦曇天 在宿 金物や行錢遣し候 *なんりよ・陰曆八月の異称。

後雄淳子御出甚不宜申分也 表右様子聞二行

牧来在無尽同宅開有之行 朝寺前帳持行寺江寄

咄し引取候也

二日曇 昨夜帰来向□物来無断他出致不届ノ向申遣 又村方

詔訴無く様ノ中ニ返来帰

三日曇天少雨降也 雄淳より鉄物一条中鉄惣代頼 右二付

飯過早々登 八ツ過より鉄物江懸ケ合無間も原江引返シ談行届也

四日快霽 在宿前雄淳子禮寄即禮返し遣

後綿や主人同仕立や来酒出し夜二入御帰被成候

五日快霽 在宿(□) 一原主人一寸御寄

晩雨降也

六日曇天 久助来蕎麦決 祐菽(大豆) 葉搔行

八ツ頃より上ニ赴今日快見舞行石橋ニテ一酒し夜二入帰也

七日曇天在宿 仕立や来

夕刻下作と坂下と森田ニテ一酒ス

八日快霽 在宿菽干し豆打也

九日快霽 在宿朝方丈御寄 長吉宮ケ麦搗久助急伏セ畑

今日恩田■

p17 1465

十日快霽 ■朝方丈托鉢ニ寄昼後年貢促し

石橋米用登 早々引取候也

十一日

十二日少雨降也 式百廿日也 在宿味噌焼金物屋

用行迎来帰

川三五郎殿□□七ツ過方趣夜二入引取候

十三日曇天 味噌焼

十四日快霽 早朝宿納年貢用川間辺石橋廻り□□荏橋寄

宿空出立□□石橋江右返し引取也

表檉垣刈刈畢 龍の鬚小土手繕 夕刻石橋と

朝寺と一酒成 但し原持参素麵亡し也

十五日朝□□濟 上々快霽上辺仕立や来徳□□瓜持参

前日石橋持濁酒と芋持行 川間佐十□□居見付遣し

石橋ニテ一酒し引取榛名山米集宿江渡ス也太々講

*伊勢参宮の為に結成した信仰集団。旅費を積み立てて

おいて籤に当たったものが代参する。

十六日曇天 在宿

昼前下仙之允殿来少用表江咄し行様子 有合セ濁酒三人呑

八ツ時分迄 暮皆下大万聳濁携来一酒ス 宿様子聞

十七日昨夜より少雨降也 在宿

十八日快霽〔■〕表江髪結貫〔■〕川和

原観音講客行早々御集同道登

十九日曇天少雨降立 久助道拵出 自居廻り

掃除成 昼二成

木犀咲

廿日少雨降今日例年祭祀川和より〔客〕夫婦来

少雨度々也 夜二入也 外客無之併□□□し

廿一日上々快霽 中村嫁姉御泊り今日四ツ半頃御帰也

今日宮跡仕舞 久助行長吉胡麻丸キ

廿二日

廿三日

夕刻胡麻少し丸キ 社日待夜行

廿四日社日茂助方江行少雨降也 牧前念仏行

米不快

廿五日少雨降 在宿米不快

同夜四ツ頃ヨリ小雷有 後辰巳大風雷氣之如音

荒天スゴキ事難述絶哉 上々大 夜明方漸静

村方人家

廿六日

川和抔天宗寺始□人ノ咄二聞候二人家十五軒家数四十軒も

a18 1456

潰有之 其外破類数多自他見聞二有之候 自今森田居

老体其外□者中村等有之 昼後早々見舞出申候

略廻り廿三軒夕刻引取申候

廿七日東福寺境内〔明〕折枝木等方付 下村〔廻〕家

集り昼前二半過方付ケ一同引取昼後

○昼後万事返心〔信〕有之是は坂下内室疫送り ?

右二付

○又廿組中寄合杉山社地ニおいて相談杉〔明〕倒れ

式本〔明〕折式本右等談し社寄石潜際式本其儘

クツ返し根ニ□人濫養積り外吹折分ハ別当江差上被成候

廿八日〔■〕快霽 上サ村始杉山社前石橋一本落

右二取懸り申候

廿九日

早昼石川風見舞出行

晦日快霽

昼後恩田江風見舞行

無射朔旦

快霽 長吉久助頼上之仕立屋取崩し趣

四ツ過上辺人数取懸り崩呉申候 長吉自夕刻迄仕舞候

二日少雨降立風少し有之 川和宿江上之怪我人見舞等

趣一酒出少々雨降歇 早々立帰り森田や〔登〕

荏糶屋呼入候二付濁一酒し夕刻蔵懸り櫛枝切上ケ

三日少降不歇寒し 上松二郎殿来 其前下傳五郎殿

来右地所用取極申候 表主人宿ノ用向來咄し川若醫 *道仙。

御出被下候 但し〔愛〕次腫物用 森田ニテ坂下と一酒シ宿江帰村

見舞一寸行也 又酒出夜二入帰宅久助と一時夕飯ス

四日雨未歇 在宿 筆学子共再登山表主人〔■〕

宅□□送来申候

五日

杉切

六日

七日快霽

八日

九日

十日快霽 昼後牧同道天王山枝切

d16 1457

十一日快霽 只老人上天王山松木枝切弃当持登也退屈

一日勤引取也 晚弥七来金物出来咄成御帰り

十二日快霽 森田や頼天王山江松木間敷取荒之方付川間廻り

杉木等見早々昼前帰ル 昼後家直しノ者大工連川和迄行帰也

十三日快霽

今日迄大取込帳不付

十四日

十五日昼前中風雨 恩大工昼後帰 久助増繩負行 石橋用登 藤吉卜

一酒紺屋用勤引取也 晩念仏

十六日昼前槻榎割昼後石橋江普請子之助庭□

石橋ニテ荏市川間平兵衛一同酒宴成 帰小右衛門娘江桑□

致居咄し勸遣引取也

十七日快霽 下弥太郎□折木倒皮むき等来

同道一同手伝也

十八日快霽 上仕立屋居宅新立迄惣五郎殿

下儀右衛門殿登山より惣五郎殿相手し松折引取也

十九日

市兵衛 灰ヤ立

廿日快霽 飯过上辺登 矢本九衛門居酒吞又帰板持参

登又瑞

廿一日快霽 川和江一寸行帰上之山行○綿や■廻り夕刻引取也

廿二日曇天少雨降立 出休又山江行 雨降立小杉皮ムキ

山返 雨ニ成帰 昼後下熊二郎方江磯右衛門大工ニ頼度

申入一酒し黄昏引取 仕立や来居上金公畑上ケ牧

頼遣し早速用足し引取来也 夜雨降也

廿三日曇天

(途中記載なし)

(十月)

十五日

十六日快霽 日□表主人牧土手伝

十七日快霽 上之建家小前壁二行 説法中回向之日之暮壁塗帰

十八日少雨降 川屋敷村豊五郎殿観音講趣

d20 1458

十九日

廿日

廿一日快霽 早昼石川無尽張用鍛冶や庄三郎殿江行帰

上辺廻り帰ル晩仕立や■表と同道登

廿二日

廿三日

廿四日

廿五日

○先月廿三日 以来三十六日目□印

應鐘廿六日曇天昼後少雨降立止々降続也

*おうしよ・陰曆十月異称

廿七日快晴曇天 在宿卯之助来川間引米用無之即下之

池之谷山人下辰五郎殿方江一寸行引取 昼也

川宿道医嫁死去ノ由中鉄老母寄承知致し候 昼後上 *道仙嫁。

仕立や江芋持参朝寺へも寄置 綿や酒代用又下鉄川金談

廿八日快霽 髪結行

川中宿不幸ニ付葬送行早引取也

廿九日快霽 今日忌中右ニ行早速観音講席仕舞歸

晦日

黄鐘朔旦 *こうしょう・陰曆十一月の異称。

二日

三日快霽 半日寺背山昼後スワ山行

△スワ山松枝引取蕎搔七把出来也

四日快霽 △上辺惣五郎殿被頼川吉蔵殿用 小石橋咄シ山ノ下草用

談し早々引取 八ツ過也 川間江も一寸廻り帰 川和江中寺

懸ヶ森理一〇 一受取隠居拙と咄し暮昏中村江打寄

酒出夕飯食し早々引取也 但し中宿後妻咄成 *道仙の後妻に付?

五日快霽 髪結行不動講用 芋洗 昼朝寺御寄

後風邪寒気致し引籠申し候 晩内迄講畢

六日曇天 在宿看経始 早昼頃川隅源蔵殿御寄

p21 1459

(記述なし)

十九日快霽 蔵底杉皮式把出来

廿日快霽 法相院追福恩田嫁親子来宿

日霽

廿一日

同

廿二日

廿三日

廿四日

廿五日昼後天王山用登 紺や用綿や咄式人御勤

原主人と仕立や一酒ス

昼後川和村中寺用趣 客皆御寄又中村行帰

廿六日昼後川中村中寺用趣 宿医江寄又中村行帰

雨降

廿七日雨降 朝寺江川寺到来 〇〇持行咄帰昼二成 榛名米集

廿八日快霽

廿九日

大呂朔旦 *十二律ノ第二律 黄鐘より一律高 陰曆十二月

二日

三日

四日

五日曇天少雨降 煤払

煤払雨降故早方付キ経走年々見セ迄も可方付

六日曇天 在宿寒し

昼後川和様子見廻 道仙老逢度旨中村頼帰 *道敬の倅。

七日曇天寒し 在宿木挽来井側拵挽

七ツ頃より下傳五郎方不幸見舞 原表一同夜ニ入帰

八日曇天 在宿 原来待不来先ニ川趣

中寺観音講 中村江夜寄小杉手見引取也

事〇〇〇何れ之事一■一之氣ニ不当様ニ成丈ケ

九日

十日曇天 川間当日用登 早々朝寺引取牧迎来

p22 1460

恩田兄政五郎殿同道但し縁談上矢本縁聞糺矢本

市兵衛より田中普請所江尋市右衛門二逢酒大萬聞中郷江も

寄聞談申弥早速御帰被成候 朝寺江行也

十一日快晴 髪結行 床煤払待結帰

十二日快霽 下鉄江用大権江尋石川鍛冶や江行夜入咄

小黒重兵衛江も尋鉄江石川四金調石橋江寄置引取

権右衛門殿老分式朱石橋より受取也

宿日霽

十三日大快霽 表之煤払晩より宿日霽行

十四日宿日霽被招行 帰り支度し上之弥吉殿来

同道下鉄江兩人趣 自大権江尋引取 晩前角

日霽被招川日霽不行

十五日快霽 川中村江日霽と外一条用談趣

宿医御出咄し夕刻引取也

十六日快霽 在宿一柳園来 川森市殿来長咄

一日二成也

十七日曇天 ○子供撰見遣 表主人来後

灸治致し夕刻二成上辺紺や行一金借

仕立や遣し帰当□迄之筈 晩森市来

十八日昨夜より雪降立今日少雨降立也 前晩二上り

今日計快 看経成一日炉辺不離

十九日快霽 在宿 隅茂右衛門殿来 宿江老両式分之内

式分不足右之訳柄聞二兩人趣候 帰り撰書

見其外何事も用異不申候

廿日快霽 ○太右衛門と下傳五郎一条同人昼前来咄し 昼後

同人待不来 弥太郎殿迄木ノ用行 同道登り太右衛門方一条

咄し分ケ遣 早々引取晩又紺や迄と綿や登談候成

廿一日快霽 在宿

廿二日快霽

昼後上仕立や廻り方付行 晩雪降

廿三日曇天 長吉米搗 下鉄主人金拾五持来一酒し

早々小机江御越被成候○前雪後成

廿四日曇天 在宿麻抱遣 無間も昼二成也

昨今寒し 昼後川中主人来右

下三日ヶ原■恋咄畢候

廿五日快霽 明日餅煉米とき 帰り石川

新左衛門殿来咄し川市五行

p 23 1461

廿六日快霽大風 早野より餅煉自のし番黄昏迄二成

内表同断前市右衛門共畢也 晩上市紺や用登

綿やと同道登 説法不聞空引取申候

廿七日快霽 在宿

下辰五郎方行森田上之寺と藪ノ下一同一酒し後餅切畢申候

廿八日快霽

昼後一柳園江餅携 綿やニテ紺やと油や一義和談

一義同人御内□寄明□登申後引取申候

廿九日快霽 在宿 荏橋来勘定談成 夫より森田

一酒し荏橋咄し面白し

川中村来引取也

右用下鉄迄登帰り油や紺や用済九ツ頃也

晦日快霽 在宿

了

令和三年八月三日 再読

青葉区古文書之会割石洋策翻刻ス

*難読不読多。

脱ページ追記正月と四月分。令和三年十一月